



第5回日本緩和医療薬学会年会

ご案内

この度、第5回日本緩和医療薬学会年会を開催させていただき運びとなりました。本年会のメインテーマは、チーム医療の理念に基づいた患者様本位の質の高い緩和薬物療法の実現に主眼をおいて「共に語ろう・・・緩和医療チームと薬剤師の未来」と致しました。年会当日には、本メインテーマに関連する各種講演、シンポジウム、ワークショップ等のプログラムを企画致します。また、口頭発表ならびにポスター発表では、日頃の皆様の研究成果を存分にご披露頂きまして、活発な議論が展開されることを期待しております。主催者側一同、例年を上回る多数の方々のご参加を心よりお待ちしております。

テーマ：共に語ろう・・・緩和医療チームと薬剤師の未来

会期：2011年9月24日(土)～25日(日)

会場：幕張メッセ

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

TEL:043-296-0001 FAX:043-296-0529

主催：一般社団法人 日本緩和医療薬学会 (<http://jpps.umin.jp/>)

会長：武田 弘志 (国際医療福祉大学 薬学部 学部長・教授
大学院 薬科学研究科 研究科長)

ホームページ：<http://www.c-linkage.co.jp/kanwa5/>

年会に関するお問い合わせ先：第5回日本緩和医療薬学会年会 運営事務局
株式会社コンベンションリンクージ内
E-mail:kanwa-5@c-linkage.co.jp

プログラム (予定)

会長講演

テーマ：サイコオンコロジー（精神腫瘍学）とストレス医学の接点
武田 弘志 (国際医療福祉大学 薬学部/大学院 薬科学研究科 薬理学)

特別講演

特別講演1：現在のがん医療の実際とチーム医療の重要性
北島 政樹 (国際医療福祉大学)

特別講演2：今後の緩和医療において薬剤師が果たすべき役割
恒藤 暁 (大阪大学大学院 医学系研究科 緩和医療学)

特別講演3：精神腫瘍学（サイコオンコロジー）と緩和医療
大西 秀樹 (埼玉医科大学 国際医療センター 精神腫瘍科)

招待講演

招待講演 1：心療内科医からみた緩和医療
村上 正人（日本大学医学部附属板橋病院 心療内科）

招待講演 2：がん専門薬剤師からみた緩和医療
河原 昌美（金沢市立病院 薬剤室）

招待講演 3：アロマセラピーと緩和医療
塩田 清二（昭和大学医学部 第一解剖学教室）

招待講演 4：笑いと緩和医療
大平 哲也（大阪大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学）

シンポジウム

シンポジウム 1：次世代の薬剤師緩和ケア教育プログラムを考える

シンポジウム 2：抗がん剤ならびにオピオイド鎮痛薬の耐性機構

シンポジウム 3：緩和医療における QOL 評価とは何か？

シンポジウム 4：緩和医療における臨床研究の進め方

シンポジウム 5：緩和医療と被災支援

シンポジウム 6：褥瘡は緩和医療の必須アイテム

～薬剤師にしかできない最善の褥瘡緩和医療～

シンポジウム 7：がん治療ならびにがん性疼痛コントロールの基礎と臨床

シンポジウム 8：緩和医療における精神医学的アプローチの臨床と基礎

シンポジウム 9：多角的にフェンタニル製剤の適正使用について考える

シンポジウム 10：緩和薬物療法認定薬剤師の認定取得に向けて

シンポジウム 11：動物モデルを用いた慢性疼痛発現機序の解明と
治療薬開発への応用

シンポジウム 12：必要とされる薬剤師を目指して

～患者の精神症状に対して、薬剤師ができること、
すべきこと～

シンポジウム 13：がん・緩和医療における薬剤師外来の現状と今後の課題

シンポジウム 14：NST における薬剤師のチーム医療

シンポジウム 15：薬学 6 年制教育における

緩和医療教育のさらなる充実を目指して

～現状と将来展望～

シンポジウム 16：緩和医療とファーマコエコノミクス

～緩和医療の質と効率の両立を目指して～

シンポジウム 17：緩和医療と緩和ケアチーム

シンポジウム 18：がん・緩和医療領域におけるクリニカルパスとチーム医療

シンポジウム 19：がん疼痛コントロールにおける副作用マネジメントの最新解釈

シンポジウム 20：がん治療における医歯薬連携と薬薬連携

～これからの薬剤師業務の広がり・・・

口腔ケア・緩和ケアへの新しい取り組み～

シンポジウム 21：在宅医療の現場は薬剤師に何を期待するのか？

ワークショップ

ワークショップ 1：-多職種参加型WS-「緩和医療と死生観」

ワークショップ 2：緩和医療における精神科疾患のトリアージ

※ワークショップへ参加するには、事前のお申込が必須となります。

参加申込方法

年会の事前参加登録と同時に、お申込いただくことができます。

また、各ワークショップ50名まで（お申込先着順）でお申込締切とさせていただきます。

ご了承ください。

※6月22日現在、定員に達した為、応募を終了致しました。

優秀論文賞受賞講演、一般演題（口頭・ポスター）、共催セミナーなど

参加登録

〈事前参加登録期間〉

2011年4月26日（火）～7月29日（金）

〈参加登録費〉

事前参加登録

会 員：8,000円

非 会 員：10,000円

学生（大学院生含む）：3,000円（申込時に学生証のコピーを下記送付先迄FAXにてお送り下さい。）

当日参加登録

会 員：10,000円

非 会 員：12,000円

学生（大学院生含む）：4,000円（当日受付時に、学生証をお持ち下さい。）

懇親会費：5,000円

- 事前参加登録期間を過ぎてもお支払いがない場合は、事前参加申込は無効になります。その場合、学会当日、当日参加料金で参加登録をしていただくこととなります。
- お支払い後のキャンセルについては受け付けられませんので予めご了承下さい。
- 事前参加申込をされた方には、ネームカード（参加証）およびプログラム・要旨集を2011年8月下旬～9月上旬に郵送いたします。
- 学生証コピー送付先

第5回日本緩和医療薬学会年会 運営事務局

TEL：03-3263-8688 / FAX：03-3263-8693

一般演題 演題募集

〈一般演題登録期間〉

2011年4月26日（火）～6月14日（火）

※演題登録は終了いたしました。